

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	自然災害用と感染症用の事業継続計画(BCP)の作成ができていない。	自然災害用と感染症用の事業継続計画(BCP)が作成できる。	法人本部や近隣施設と相談しながら事業計画を作成する。	12ヶ月
2	4	運営推進会議を2ヶ月に1回行っているが、毎回同じ内容となっていたり、ご家族の参加ができていない。	運営推進会議の参加者や議題がマンネリ化しない。	毎回同じ議題とにならないように工夫し、議題によって参加者の構成を変更する。年に1回昼食会などを開き、施設内の様子を直接見てもらう機会を作る。	12ヶ月
3	3	日々の生活の中で利用者の希望や意向を伺うようにしているが、意向や希望に沿った生活の支援が十分に行えていない。	利用者の希望や意向が、生きがいや生活目標に繋がる。	センター方式を活用し、本人の希望や生活に対する意向を考える。考えた内容をもとに、本人の生活目標を決めて、目標に向かって本人にできる事や支援内容を検討し、実施する。	12ヶ月
4	36	利用者に近づくと言葉が荒くなる傾向にある。	親しき中にも節度をもって支援する事ができる。	内部の接遇研修や施設内の話し合いで人権について学び、利用者の人格を尊重し、人権を侵害しないような対応や言葉遣いを日ごろから心がける。	3ヶ月
5	20	コロナが落ち着けば従来通りの面会や外出が再開されるが、従来での面会でも、ただ利用者とはうだけの形が多い。	面会の際に利用者とはゆっくと会話することができる。	家族の面会の際に、利用者の昔の写真を持って来てもらい、それをもとに昔話をしてもらう。施設でその写真を預らせてもらい、職員もその写真をもとに利用者とは話をする。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。